

第2回遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会
WGⅡ「教育・普及のための教材づくり」について【要旨】

1. 10年前作成教材関連

- ・10年前に作成した教材を再発行するのではと期待していた。
- ・10年前は90ページ程のボリュームがあった。
- ・原稿作成依頼をどうするか。
- ・大人向けの教材はあるので、10年前に作成した教材を現在版に再編集するのはどうか。
- ・10年前の教材は、未発表であっても当時の作成者に著作権があるため、再編集は出来ない。一から作り直すことになる。
- ・10年前に作成した内容を基に、要約版は出来ないか。

2. 各市町作成済教材関連

- ・小山市では「1、2、3年生向け」「4、5、6年生向け」「中学生向け」の3種類を作成している。
- ・栃木市でも教材は作成しているが、「治水」をテーマにしたものが無い。今回作成してもらえたら活用出来る。
- ・既に各市町で作成している教材を超える内容でないと今回作成する意味が無い。

3. テーマ関連

- ・テーマは「治水」のみか。他のテーマも取り上げるのか。
- ・スケジュールはどうなるのか。
- ・様々なテーマを取り入れないと教材とは言えないのではないか。
- ・テーマは広く扱い、子どもたちが「自分で調べる」ためのきっかけとなる教材ではどうか。
- ・テーマを提供し、その中から子どもたちが学びたいことを選択出来るような内容ではどうか。
- ・子どもたちが「疑問を持ち、もっと調べたい」と思わせる内容ではどうか。
- ・子どもたちが興味を持つための「入口の教材」にするか、「教え込むための教材」にするか。
- ・「ラムサールの普及・啓発」をメインテーマの教材ではどうか。
- ・4市2町にまたがる渡良瀬遊水地の「域民」という認識を持って、「渡良瀬」

をテーマにしてはどうか。

4. スケジュール関連

- ・ 入門書のような内容なら作成しやすいのでは。
- ・ 10年前と同じボリュームでは難しい。「治水」をテーマにA3二つ折でどうか。
- ・ どこまで配布するか、予算面も考慮して決める必要がある。
- ・ 本格的な教材の作成では、スケジュール的に厳しい。どの様な内容で作成するか、幹事会で決めてもらいたい。